

2025~2026

会

報

R | 第2720地区



The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通 算 3 2 6 1 回
2025年10月24日
第 1 4 回 例 会

よいことのために手を取りあおう

2025~2026年度 R | 会長

マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎ 2171

例会場

事務局

清流山水花 あゆの里内 ☎ 6665 ☎ 6505



人吉ロータリークラブ
ホームページ



f フェイスブックページ

[E-mail]

hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2025~2026年度 人吉ロータリークラブテーマ それぞれの輝きをひとつに

本日の例会

国歌斉唱・Rソング斉唱
来訪者紹介ならびに会長の時間
幹事報告
来訪者挨拶
出席率報告
会員5分間スピーチ
地区役員委嘱状伝達
Rの友紹介
結婚誕生祝い
人吉ロータリークラブ奨学生卓話(ビデオレター)
会務報告
寄付カード

点 鐘

塚本哲也 会長

歌 唱

ソングリーダー 米田幸司 委員

国 歌 「君が代」
R S 「奉仕の理想」

司会・進行

プログラム 岡本明德 委員長

来訪者紹介

国際ロータリー第2730地区

2730 ジャパン カレント ロータリー Eクラブ

安達 京華 様

ご友人 服部 しのぶ 様

会長の時間

会長 塚本哲也



皆さん、こんにちは。今日は少し時間をいただけるということです。先日は東京での修業時代の話をさせて頂きましたが、今日は当店の話と酒屋の移り変わり、そして日本

酒とワインの資格取得の話をさせていただきます。

私の祖父は昭和5年に人吉城の隣で創業し、今年で95年になります。当時、人吉城は花見の季節は大変賑わっていたそうで城内にテントを張って何日も泊まり込みながら花見客にお酒を売っていたそうです。その後、父は高校卒業して税務署へ勤務していたのですが、祖父から「長男だから後を継ぐように」と言われていたそうです。父は継ぐ条件として飲食店街に店を移転することを挙げ、それで70年ほど前に今の場所に移転して来ました。今と違うのが、どうせ後を継ぐから大学には行かなくていいと言われたそうで、父の弟2人は大学へ進学しています。当時はそれだけ人吉で生活のすべてが完結していたのかなと思いました。

そして、私が高校生の時に今の建物が出来、45年前に「モンマートつかもと」という名前でコンビニをオープンしました。今ではコンビニはたくさんありますが、当時は球磨人吉で初めてで、モンマートでは熊本県で2番目の出店でした。当時は球磨人吉に酒屋さんが240件、人吉市だけでも100件以上あり、紺屋町通りにも業務用の酒屋が3件ありましたが、今の1.5倍くらいは飲食店もあったので得意先を取ったり取られたり、毎日しのぎを削り合って商売をしていました。しかしこれからが酒屋が大きな波に巻き込まれる時代が始まりました。

私が帰省して1年後に、ディスカウント店が農免道路に出来て、皆さんも覚えている方も多いと思いますが、連日交通整理の人が2、3人いても渋滞するくらい大盛況でした。そして2-3年の間に酒のディスカウント店も5件ほどに増えました。その後は大店法と酒類販売免許も緩和されて次々と大型店が出来、今ではジャスコ、ロッキー、スーパーキッド、鮮度市場、ゆめマート、ニシムタ、コスモス、ドラモリ、ダイレックス等大型店が郊外にたくさんオープンしてそこでは酒も販売できるようになり、またコンビニも次々の出来て酒の販売を始めて、町の酒屋さんと酒専門のディスカウント店が一気に無くなってしまいました。

そんな中、30歳を過ぎてからこのままでは生き残れないかもしれないと思い、店の弁当や総菜を止めて

酒専門の品ぞろえにしました。そして酒の資格を取得しようと思い一念発起して猛勉強を始めました。まずは日本酒の資格からと思い、きっぱりタバコも止めて、きき酒師、酒匠アドバイザーの資格を取得しました。どちらも、講習会を受けて、一次試験、次に二次試験があり、きき酒師の資格を取るために福岡に3回行きました。酒匠アドバイザーは名古屋で講習会を受けて、一次試験と二次試験は札幌で受けました。二次試験でのテイスティングの際、8つのコップの内の一つをこぼしてしまい、「札幌まで来て何しよつとか」と冷や汗をかいたのを今でも鮮明に覚えています。そして次に難関のワインの資格取得に挑みました。ソムリエは当時ソムリエとワインアドバイザーの2つの資格に分けられていて、ソムリエはホテルや飲食業、CAさんなどの職種に携わる人が受験資格があり、3年以上の勤務が受験の条件でした。私たち酒屋、ビールメーカー、ワインや洋酒の輸入元はワインアドバイザーの資格で、こちらの受験資格は勤務期間が5年以上とされていました。

講習会と一次試験は福岡であり、重箱の隅をつつくような問題がでて固有名詞はすべて原語で出題されます。一次試験に合格すると二次試験は大阪でありました。二次試験ではソムリエはお客様にワインを提供する実技試験が重要視され、ワインアドバイザーはワインやその他のお酒の深い知識が求められました。中でもテイスティングは難しく、4種類のワインの見た目、香り、味わいのコメントと生産国と地域、葡萄品種、ヴィンテージ、価格を当てなければなりません。

ワインアドバイザーにはお客様に対する実技試験が無かったので、その実技を重要視するワインコーディネーターの資格も取得しようとチャレンジしました。筆記試験、実技試験とも福岡市のシーホークであり、実技試験の試験官はその協会の会長でしたので超緊張しました。まずワインセラーからワインを出し、「これでいいですか?」と尋ねられるとまずホスト役の会長にワインを注ぎ、また領かれるとそれからお客様にワインを継ぐという手順で実技試験を受けて、どうにか4つの資格を取得することが出来ました。

そうした中、帰ってきてすぐの32年前に日本酒が主食の中村良郎さんに会長になって頂き「正酒会」という日本酒の会を立ち上げ、コロナまで27年間毎月20名位で開催していました。球磨焼酎も「球磨の焼酎学校」を定期的に開催していて、この会は先日盛大な卒業式が開催されました。ワイン会も定期的にボジョレーヌーボー会をはじめ開催しています。

結びになりますが、このような感じで趣味と実益を兼ねて楽しみながらやっているとところが良かったのかなと思っています。今後、大学2年生の息子が後を継いでくれるかわかりませんが、塚本酒店を宜しくお願いします。これで会長の時間を終わります。

案内(回覧)

1. グローバル補助金プロジェクトの海外援助クラブ募集 (締切11/14)
2. R I 日本事務局財団ニュース10月号
3. 別府北RC創立60周年記念式典・祝賀会のご案内
12/13 ホテル別府パストラル
15:00記念式典 17:30祝賀会
4. 和泉RCより、8月の納涼家族会例会参加のお礼とバナー
5. 第17回人吉オープンゴルフ大会(11/3開催)協賛依頼
7/4定例理事会で承認済み
6. 歳末たすけあい演芸会(12/7)の入場券販売について
午前部10:00開演 午後部14:00開演
入場券 1枚1,000円 午前部5枚 午後部5枚
7. 共同募金「職域募金」協力をお願い
8. 第50回記念 人吉文化祭のご案内
11/1~2 カルチャーパレス
9. お礼状
人吉市より、夏のクマ人吉早朝清掃参加に対して
青井阿蘇神社より、おくんち祭へのご協力に対して

今後の例会について

令和7年10月31日12:30開会

5分間スピーチ、米山記念卓話

令和7年11月7日 休会

令和7年11月14日12:30開会

5分間スピーチ、R財団卓話、友の紹介、結婚誕生祝

連絡

11/8 チャレンジカップ

11/15 IM

【来訪者挨拶】



2730ジャパンカレントREC
安達 京華 様

出席率報告

委員 岩井和彦

現 会 員 数	52名	出席免除会員数	1名
出席義務会員数	51名	本日の出席率 62.75%	
欠 席 者 数	19名		
出 席 者 数	32名		
免除会員出席数	0名		

【会員5分間スピーチ】

「地域の皆さまに育てられ、お陰様で100周年」

北 昌二郎会員

皆さんこんにちは、本日は「地域の皆さまに育てられ、お陰様で100周年」をテーマに再来年に創立100周年を迎えるに当たり、いかに地域の皆さまにお世話を頂いたことに関し、感謝をお伝えできればと思い、お話をさせていただきます。

つばめ交通は1927年 昭和2年9月12日に「合資会社 つばめ自動車商会」として創立致しました。

爾来 98年間地域の皆さまの足として、愛され、育てられ、タクシー業を営んで参りました。

本当に皆様のお陰であると感謝申し上げます。

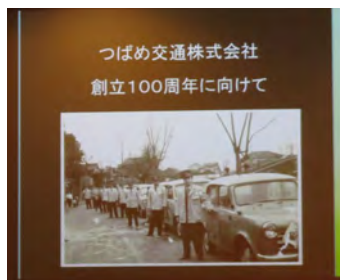
つばめ交通は2年後の2027年に創立100周年を迎えます。それに向けての記念誌を作る準備も兼ねて、今日は少しでも過去を振り返ってみたいと思います。

1952年昭和27年5月19日、つばめ自動車商会は譲渡譲受の認可を受け、合資会社から株式会社に代わり、「つばめタクシー株式会社」として、人吉在住の鹿児島県出身者により引き継がれました。

初代社長に永田村衛右門氏が、私の父の北 利四郎が専務、前経営者の東中村時義氏が常務として執行部を務め、その5年後永田村衛門氏の他界に伴い専務が社長へ常務が専務へと経営を続けて参りました。会社は紆余曲折を経て、1985年昭和60年株式化創業30周年記念式典を迎え、その3年後に北 利四郎社長が他界。平成元年より私が社長として現在を迎えております。

2005年平成17年8月6日に株式化創業50周年祝賀会を開催致しました。その時の写真をご覧ください。

最後になりますが、100周年式典、記念講演なども企画しております。その節はまたご協力頂ければ、幸いです。



【次年度】 ガバナーエレクト 延岡研一

国際ロータリー第2720地区

2025～2026年度地区出向委嘱状伝達

地区史編纂委員会委員 中川貴夫

2026～2027年度地区出向委嘱状伝達

地区筆頭副幹事 新堀純子

地区副幹事 長船法文



【雑誌委員会】

ロータリーの友 10月号紹介

鳥井正徳会員



皆さん、こんにちは。

ゴロゴロしていましたら、ある会員から「友の紹介をしてほしい」と頼まれました。日頃から新会員の皆さんに『ロータリーの友』の購読をおすすめしている立場ですので、断るわけにもいかず、本日はお話をさせていただきます。

まず10月号の紹介ですが、最初は横組みの表紙からです。ご覧ください。どなたか、この花が何かご存知でしょうか。これは読者の皆さんが応募された絵画作品で、熊本グリーンロータリーアクトクラブの久保山慧美さん（元人吉RAC会員）による「Alive」という絵です。私も長年マリーゴールドを育てていますが、この絵には大きな花だけではなく、つぼみや、少し枯れかかった花まで丁寧に描かれています。表紙の紹介は46ページに載っていますので、ぜひご覧ください。マリーゴールドの花言葉のひとつに「生きる」があるそうで、久保山さんは「雨に打たれ、うつむく時もあるけれど、したたかに生きていきたい」と書かれています。

もうひとつ、縦組みの表紙もご覧ください。「線のチカラ」と題された、高知県の大塚和助さんの作品です。私はそこに書かれている大塚さんのお考えに、まったく同じ気持ちを持っています。少し読み上げます。

「現代はすべてがデジタル化し、私たちの世の中はコンピューターに支配されつつある。昭和に生きてきた私にとってはスピードや効率の反対にある“スロー”や“非効率”も大事。アナログの世界に触れるとホッとします。絵や書でも、人の心を感じられる表現は、コンピューターより、手で描く線のほうが心に響く気がする。“線のチカラ”を新鮮に感じてもらえたら本望です。」

皆さんも、パソコンで文字を打つのも良いのですが、たまには手で書いてみてはいかがでしょうか。線を太くしたり細くしたり、書くという行為には人の心が表れると、私自身も思っています。

次に、10ページをご覧ください。地域社会に貢献されている蔵元として、全国のロータリアン蔵元が紹介されています。14ページには、熊本県から織月酒造（株）が掲載されています。おめでとうございます。

それから22ページです。22～29ページにわたって、次回の国際大会・台湾台北大会に行くべき理由について詳しく載っています。大会は2026年6月13日から17日です。当クラブからは20名ほど参加する予定だと聞いています。参加予定の方は、ぜひ隅々まで読んでいただきたいと思います。

私も台湾には思い出があります。もう30年前になりますが、旅行に応募したところ、いざ空港に行くと参加者が私と家内の2人だけでした。「2人でいいんですか？」と尋ねると、「どうぞどうぞ」と言われ、そのまま2人でバスを貸し切り、5日間まわりました。一番印象に残っているのは花蓮です。この前の台風で大き

な被害を受けましたね。まず最初に写真を撮った思い出の場所です。ぜひ訪れていただきたいですが、台北の中心地からは少し遠いところです。

最後に18～19ページです。私たちが毎月・毎年寄付しているロータリー米山記念奨学会について、寄付額のデータが載っています。2720地区では約2,500万円とのことです。人吉ロータリークラブからも、一般寄付・カード寄付・特別寄付を合わせると、毎年およそ100万円ほど寄付しているのではないかと思います。こうしたデータも載っていますので、ぜひご覧ください。

以上、簡単ではありますが、10月号の紹介でした。

【親睦委員会】

10月結婚祝い

深水義富会員	6日	石蔵尚之会員	13日
春木 顕会員	13日	中島博之会員	17日
岩下幸司会員	26日		

10月誕生祝い

岡本明德会員	8日	長船法文会員	14日
浅野 強会員	30日		

【人吉RC奨学基金委員会】

人吉ロータリークラブ奨学生卓話（ビデオレター）

- 第11期生 球磨工業高校2名
- ・奨学生発表 学校生活、進学・将来について

会務報告

【社会奉仕委員会】 委員長 葉山稔洋

チャレンジカップ開催
開催日時：11月8日（土） 9:30 開会
場 所：多良木町民体育館
準備集合時間： 7:40

・参加者状況
ボランティア：120名（うち人吉RC21名）
選手：41名
現在、ボランティアがまだ不足しています。
未返信の方で参加できる方はご協力をお願いします。

・役割分担については、昨年の役割表を基に、今年の出席状況から仮の担当割を当てて作成済みですが、次週、意見がなければそのまま印刷して配布しますので、異議のある方は早めにご連絡ください。
・チャレンジカップの成り立ち
近代オリンピックの「生みの親」は、フランスの教育者であるピエール・ド・クーベルタンですが、チャレンジカップの生みの親は、誰でしょう。
答え）発案者は延岡エレクト、第59代会長
「地区補助金を活用した事業を行おう」という提案からスタートしました。

・地区補助金の仕組みについて
地区補助金はクラブの寄付実績と会員数から算出。1人あたりの寄付額が 100～150ドルの間にあると、→最大3,000ドル の地区補助金が支給される。補助金をもらう条件として、クラブが 同額の資金を自前で用意が必要。
昨年度（岩井会長時）は過去最高クラスの寄付額が集まりました。これを数年継続すれば、より大きな事業にも挑戦可能です。

・寄付に関するクラブ方針
今年から寄付について1人150ドルをクラブとしての目標に設定している状況です。
事業への参加だけでなく寄付での協力も重要です。

	会長	幹事	財団	寄付額	特別会計	会員数			
	56	山鹿	浅野	和田	721,003	67			
	57	渡辺	井手	延岡	984,403	65			
	58	鳥井	有馬	富原	1,073,000	64			
第1回	59	延岡	水野	宮原	804400	280,067	64		
第2回	60	本田	葉山	友永	773,920	314,581	62		
第3回	61	井手	石蔵	和田	656,120	273,413	63		
第4回	62	有馬	新堀	中川	719,760	239,021	64		
第5回	63	水野	青木	中川	632,376	300,596	56		
水害	64	葉山	北	浅野	573,540	295,075	51高等学校リモート環境づくり		
コロナ	65	石蔵	竹長	片岡	672,341	285,188	49子供の居場所づくり実施プロジェクト		
第6回	66	青木	加登住	片岡	622,840	278,538	48	254000	
第7回	67	北	小笠原	増田	513,553	268,001	46		
第8回	68	岩井	伊久美	葉山	1,715,434	264,127	48		
第9回	69	塚本	春木	増田			49	227000	
	70	竹長							
				2,778,406	926,435	196	65.3	14,187	128 \$

【寄付カード】
〈ニコニコ箱〉
・北会員 5分間スピーチありがとうございました。
2027年9月12日に100周年を迎えます。その節は宜しくお願いいたします。

〈R財団〉
・春木幹事 安達様、服部様、ご来訪ありがとうございます。多様性という言葉に追いつかないところもある私ですが、一人ひとりを大切にできる社会であることを願ってこれからも励んでまいります。

〈人吉奨学基金委員会〉
・春木幹事 R財団と同文